

| | |
|----------------------|----------------------|
| 前 奏 黙想 | 祈 禱 |
| 招 詞 イザヤ書 55:6 | 讚 美 歌 138 ああ主はたがため |
| 讚 美 歌 59 かみのめぐみ | 献 金 |
| 祈 禱 | 讚 詠 547 いまささぐるそなえものを |
| 信仰告白 使徒信条 566 | 黙 禱 |
| 聖 書 ゼカリヤ書 13:7 | 主の祈り 564 |
| マルコによる福音書 14:27~31 | 讚 詠 545 父のみかみに |
| 讚 美 歌 520 しずけき河のきしべを | 祝 禱 |
| 説 教 『 過越の食事のあとで 』 | 後 奏 |

最後の晩餐を終えると、一同はエルサレム東隣にあるオリーブ山へ出かけた(マルコ14:26)。そこでイエスは、弟子たちが絶望するような未来を告げる。「あなたがたは皆、わたしにつまずく。〔わたしは羊飼いを打つ。すると羊は散ってしまう〕と書いてあるからだ(14:27)」。イエスは御自分の命運と弟子たちのその後を、ゼカリヤの預言の成就として語った。「羊飼いを打て、羊の群れは散らされるがよい(ゼカリヤ13:7)」。『羊飼い／イエス』は神に打たれ(十字架)、『羊／弟子たち』は散らされてしまう。

ここに至るまでの不穏な空気が、私たちの肌にもヒリヒリと感じられる。イエスは御自分の受難を三度予告した(マルコ8:31,9:31,10:33~34)。一度目はペトロが受難予告を諫めてこっぴどく叱られ(8:33)、二度目は「弟子たちはこの言葉が分らなかったが、怖くて尋ねられなかった(9:32)」。三度目は「弟子たちは驚き、従う者たちは恐れた(10:32)」。そして過越の食事の席でイエスは「あなたがたの一人が～わたしを裏切ろうとしている(14:18)」ときっぱり言い、弟子たちは心を見透かされて狼狽したのか「[まさかわたしのことでは]と代わる代わる言い始めた(14:19)」。想像すると、重く危険な空気。

そんな危うい空気の中イエスは「あなたがたは皆わたしにつまずく」と告げた。ペトロは「たとえ、みんながつまずいても、わたしはつまずきません(14:29)」と答えた。懸命に勇気をみせてもその目は不安で揺れている。するとイエスは、気遣いなくズバリと告げる。「あなたは今日、今夜、鶏が二度鳴く前に、三度わたしのことを知らないと言うだろう(14:30)」。ペトロは顔を真っ赤にして「御一緒に死なねばならなくなっても、知らないなどとは決して申しません(14:31)」と抗弁した。他の弟子も過越の晩餐時のように(14:19)、口々に「死んでもついていきます」と強弁している(14:31)。氣勢を張ってみせる弟子たちと、淡々として冷徹にさえ見えるイエスの、何というコントラストだろう。

イエスはペトロの否認を予期し(14:30)、弟子たちが霧散することが分かっていた(14:27)。そんなペトロに、そんな弟子たちに、それから、そんなイスカリオテのユダに(14:10)、イエスは「命」を分かち与えた。御自分の「体(14:22)」を惜しみなく与え、贖いと契約の「血(14:24)」を分け与えた。

ユダもまたイエスに従った十二弟子の一人だった。素朴な漁師の弟子たちより、世間の駆け引きに長けていたユダは、祭司長らと取引して危険な道を回避しようとしたのか。だが駆け引きは権力者の方が上手だ。いやそもそも、神が定めた命運に(14:36)、人間の小賢しさなど通じるはずがない。

「あなたがたは皆わたしにつまずく(14:27)」と言った直後に、イエスは重要なことを告げている。「しかし、わたしは復活した後、あなたがたより先にガリラヤへ行く(14:28)」。だが弟子たちはそんな謎めいた言葉は耳に入らず、内心不安で一杯の「つまずく自分」を払拭しようと懸命だった(14:31)。

イエスの体であるパンを食べ(14:22)、血である葡萄酒を飲み(14:24)、日々の祈りで聖霊に満たされる私たちは、キリストの恵みと力をこの身に負って十字架まで従って行く。弟子たちは寸前で脱落するが(14:27)、伏流して復活の証人となる(14:28)。弟子たちのように、私たちも、この「弱い私」のまま愛される。自分を圧迫する強がりの「鎧」は外され、キリストの命を生きる「自由な私」となる。

十字架へ向かうイエスと弟子たち その目の色はなんと違うのだろう 不安に怯える弟子たちの目冷たく澄んだイエスの目 だがそれさえも揺れ動く(マルコ14:36) 人間には太刀打ちできない十字架

本日礼拝後に役員会。カレーの日です。3/4(水)1:00~3:00 教会カフェ。3/5(木)10:00~11:00 世界祈禱日(韮崎教会)。牧師の動き:3/4 午前聖書のおはなし(YMCA)、3/5 午後山梨英和こども園で聖研。

礼拝堂・集会所の住所: 408-0012 山梨県北杜市高根町箕輪 2265-3

連絡・問い合わせは牧師へ: 408-0205 北杜市明野町浅尾新田 1324 TEL 0551-25-4008

eメールは komechan.olive@gmail.com HPは「日本基督教団八ヶ岳教会」で検索して下さい。